

平成 31 年(令和元年)度 事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

学校法人 松原学園

1. 法人の概要

- ① 名称：学校法人 松原学園（昭和 44 年 1 月 10 日法人設立）
- ② 住所等：大阪府松原市阿保 3 - 1 6 - 4 1
電話番号・ファックス 0 7 2 - 3 3 2 - 1 6 4 8
ホームページ <http://matsubara-hikari.net>
メールアドレス info@matsubara-hikari.net
- ③ 設置する学校：松原ひかり幼稚園 定員 330 名 実員 357 名（3 月 1 日現在）
- ④ 理事長名：菊井 智明（理事 6 人 評議員 13 人 監事 2 人 定例理事会年 2 回開催）
- ⑤ 教職員の状況（令和元年度末時点）：教職員 19 人 退職者 2 人 パート保育士 20 人 保育補助 8 人
看護師 1 人 事務員 1 人 運転手 3 人（委託）
栄養士 1 人（委託） 調理員 6 人（委託）
ガードマン 2 人（うち 1 人委託）

2. 事業の概要（平成 31～令和元年度 松原ひかり幼稚園の概要）

① 教育方針

幼稚園はひとりひとり違った環境で育った子どもたちが集まる小さな社会であり、そこでは個性の違う多くの仲間や保育者に出会う。様々な共同体験を通してそれぞれの違いを認め合い関わりながら、豊かな感性、表現、行動力を身につけるよう、保育素材、カリキュラムの研鑽に全力を尽くしている。のびのびと活発に園生活を展開する中にもしっかりと生活習慣を確立し、ルールを守り、静かに話を聞く態度、自信を持って自分の考えを伝える力を培っている。

② 学年 定員、実員、学級数（令和 2 年 3 月 1 日現在）

<乳児 3 号>

| 年度 | 1 歳児 | | 4 歳児 | | 計 |
|------|------|----|------|----|----|
| | 学級数 | 人数 | 学級数 | 人数 | |
| 利用定員 | 1 | 12 | 1 | 18 | 30 |
| R.1 | 1 | 18 | 1 | 19 | 37 |

<幼児 1 号 2 号>

| 年度 | 満 3 歳児/3 歳児 | | 4 歳児 | | 5 歳児 | | 計 |
|------|-------------|-------|------|-------|------|-------|-------|
| | 学級数 | 人数 | 学級数 | 人数 | 学級数 | 人数 | |
| 利用定員 | 5 | 92 名 | 4 | 103 名 | 4 | 105 名 | 300 名 |
| R.1 | 6 | 134 名 | 3 | 88 名 | 4 | 106 名 | 328 名 |

③ 保育時間：月～土 午前 7 時 30 分～午後 6 時 30 分（月～金 延長 19 時まで）

教育時間：月～金 午前 9 時～午後 2 時 50 分

完全給食保育料及び諸経費

- ・保育料は市町村の決定したものに従う。10 月より 3～5 歳児無償化

(給食費、母の会費・教育充実費・教材費・冷暖房費は別途徴収)

・送迎バス代： 4000 円/月 片道 2500 円/月

④ 入園時の費用 (1号2号入園時)

・入園準備金： 50,000 円 ・施設設備費：10,000 円 ・入園検定料：2,000 円

(3号入園時： 32,000 円 2号進級時：30,000 円)

⑤ 預かり保育

・月～金 午前7時30分から9時30分までと午後2時から午後6時30分まで(延長7時まで)

・春休み、夏休み、冬休み 午前7時30分～午後6時30分(延長7時まで)

・土曜日預かり 2号3号両親とも就労の場合のみ 午前7時30分～18時30分(延長なし)

・一時預かり保育の受け入れ (月～土) 一日8時間を上限として

⑥ 行事の実施

4月： 入園式(保護者同伴)、始業式、保育参観、身体測定

5月： 内科検診、眼科検診 遠足

6月： 保育参観、歯科検診、耳鼻科検診、

7月： 七夕音楽会、プール遊び、花火指導、個人懇談会、1泊保育、夏期預かり保育

8月： 夏休み、夏期預かり保育、夏祭り

9月： 始業式、敬老の日高齢者施設訪問、身体測定

10月： 保育参観、避難訓練、運動会、遠足

11月： 移動動物園、防火パレード、松原市阿保防災訓練参加

12月： 作品展、クリスマス会、保育参観、身体測定、冬休み、冬休み預かり保育

1月： 始業式、音楽会

2月： 節分豆まき、観劇、サッカー大会、松原北小学校交流会

3月： 卒園式(保護者同伴クラスごと)

3. 財務の概要

財務状況は ここ数年は健全経営のため黒字である。

<令和元年度の取り組み>

1. 早朝預かり保育の充実

早朝預かりの場所をホールに移動させ、遊びのコーナーを設け、広い空間でのびのびと過ごせるように工夫した。

2. お泊り保育の実施場所を急遽、変更

これまで行っていた「みさき公園」の存続が危ぶまれたため、別の場所を検討した結果、丹波笹山に行くことに決定した。大型観光バスで道中を快適に過ごし、現地では山の自然を満喫した。

3. 10月から満3歳児単独クラスを設置した。

昨年度の後半から年少クラスに編入する満3歳児の入園が増え、年少児・満3歳児両者にとって最適な環境ではなかったという実情を踏まえ、10月から単独クラスを作った。子どもたちが安心して過ごせる場ができた。

4. 満3歳児クラスの保育室の整備、トイレの改修工事

5. 10月からの教育保育の無償化に関する保護者への説明会の実施

6. プログラミング教材の導入

10月から年長組にプログラミング教材を導入した。これからの時代を担う子どもたちがタブレットを一人一台使用し、馴染みやすい教材を使ってICTを体験する。

7. Wifi環境完備

次年度からは年中組もプログラミング教材の導入を考えているため、各保育室でwifiが使えるように完備した。

8. 登降園管理のICT化

全園児の登降園時間の把握・預かり保育時間の算出・出席欠席の記録をカードをかざすことによって行い、保育士の事務作業の効率化を図る。

9. 連絡アプリの導入

これまで使用していた「安心安全メール」に変わり、アプリを導入し、より迅速に緊急連絡などが伝達できるようになった。しばらくは、「安心安全メール」も併用する。

10. 年度末3月には、新型コロナの感染拡大により、幼稚園が突然登園自粛となり、卒園式も通例とは異なる、クラスごとの卒園式を行った。保育参観、劇発表会や学年の修了式は行うことができなかった。